

## JPAIS/JASMIN International Meeting 2015 報告

松下倫子 (まつした みちこ)  
関東学院大学人間環境学部

### 1. はじめに

JPAIS/JASMIN International Meeting は、毎年 AIS (Association for Information Systems) が 12 月に開催している ICIS (International Conference on Information Systems) のプレセッションまたはポストセッションとして開催されています。ICIS2015 は、アメリカ合衆国テキサス州の Fort Worth のコンベンションセンターおよび Omni Fort Worth Hotel で 12 月 13 日から 16 日まで開催され [1], JPAIS/JASMIN International Meeting 2015 は 12 月 13 日の午後、同会場で開催されました [2]。

### 2. 開催概要

今年のテーマは “Exploring the Information Frontier: from Japan to the World” で、事前に応募され、採択された計 8 件の発表が行われました。開始にあたっては、JPAIS 会長の平野雅章氏 (早稲田大学) の挨拶があり、その後、2 つのセッションがもたれました。参加者は発表者を含め、3 カ国からの計

12 名でした。昨年よりも発表件数が多く、会場の利用時間の関係で、1 件あたりの発表時間は 25 分と短かったのですが、各発表の後には活発な質疑応答が行われました。どの発表者も、これらのディスカッションから、多くの知見や研究上のヒントが得られたのではないかと思います。

### 3. ICIS2015 について

初日の基調講演での主催者発表によれば、今年の ICIS の参加者数は世界 37 カ国からの約 1,400 名とのことでした。発表件数も多かったのですが、ポスターセッションも 100 件以上あり、広大なイベントホールの一隅に 4 日間にわたって掲示されていました。研究者本人による説明は、研究分野ごとに日時が指定されていたのですが、ポスター自体は、研究者本人が滞在している期間中、常に掲示されていたので、参加者はいつでもポスターを見ることができました。このような運営は、今後のヒントになると思いました。



図1 コンベンションセンター(手前)と Omni Fort Worth Hotel (奥のタワー)



図2 発表の様子



図3 終了後の記念写真

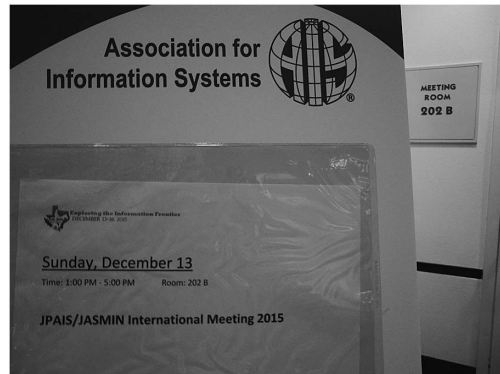


図4 サインボード

#### 4. Region 3 Executive Meeting

12月15日の昼食時には、Region 3（アジア太平洋地区部会）の幹部会議が開催されました。この会議は年に2回、ICISおよびPACIS（Pacific Asia Conference on Information Systems）の会場で開催されているとのことです [3]。短い時間でしたが、同じ地区の研究者との交流は大変有意義でした。

#### 5. おわりに

今回のJPAIS/JASMIN International Meeting 2015では、初めての発表者が海外からの参加者も含めて2名いました。ICISの開催時期は、日本では年末

の繁忙期にあたり、日程調整も大変ですが、IS分野の研究の最新動向に触れることができるだけでなく、他国の研究者との交流の機会が多く、大変有益です。まだ参加されたことのない学会員のみなさんも、是非来年の参加をご検討ください。なお、来年のICIS2016はアイルランドのダブリンで12月11日から14日まで開催されます [4]。

#### 参考文献

- [1] <http://icis2015.aisnet.org/en/>
- [2] <https://sites.google.com/site/jpaisnet/activities/jpais2015/jpais-jasmin-international-meeting-2015>
- [3] <http://www.pacis-net.org/>
- [4] <http://icis2016.aisnet.org/>